



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：野本陽一 長峰宏芳 小谷野五雄 鈴木聖二 小島信昭 齊藤正明 鈴木弘 荒川岩雄 宮崎栄治郎 本木茂 小林哲也 田村琢実 高橋政雄 土屋恵一 岩崎宏 神尾高善 諸井真英 石井平夫 木下高志 中屋敷慎一 伊藤雅俊 新井一徳 須賀敬史 中野英幸 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 山下勝矢 白土幸仁 柿沼トミ子 岡地優 荒木裕介 新井豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 板橋智之 永瀬秀樹 清水義憲 細田善則 神谷大輔 岡田静佳 杉島理一郎 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井明 宇田川幸夫 松澤正 吉良英敏 金子勝 美田宗亮 (以上52名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、早いもので県議会議員の4年の任期も4年目を迎えるところであり、これまで議会の最大会派として県民の負託に応えるべく県政を担ってまいりました。これからも、時代の変化に即応できる政策を立案することで、県民の側に立った県政運営を行って参ります。

現在、自民党県議団が県政をリードする責任のもと、様々な施策に取り組んでいるうちの主

な施策をご紹介させて頂きたいと存じます。

まず、国の示す「第五期科学技術基本計画」により示された、情報社会に次ぐ第5の新たな社会をイノベーションにより生み出す「Society5.0」を埼玉県がリードし、埼玉県発展の起爆剤にする取り組みがスタート致しました。これは、自民党県議団が提案し実現しているもので、IoTや人工知能などを用いた技術の集積地として、県農業大学校跡地を活用し、産官学の連携のもとに進めるものであります。これから、国の未来投資促進法や新たに創設される国家戦略特区(サンドボックス)と

連動し、周辺市町村の協力を得ながらスピード感をもって推進して参ります。

また、今年度も様々な議員提出条例に取り組んで参りました。六月定例会では、児童障害者、高齢者に対する虐待を総合的な対策を推進する「埼玉県虐待禁止条例」を制定致しました。九月定例会では、自転車事故の被害者を救済することを目的に、自転車保険の加入を義務付ける「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例」を制定致しました。更に、十二月定例会に於いては、小規模企業の事業の持続的な発展を図ることを目的とした「埼玉県小規模企業振興基本条例」を制定致しました。これらの制定により全国一の議員政策条例数となりました。

今後も、県民ニーズを的確に捉え、県政を推進して参ります。県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



条例を議員提案する本会議の様子

埼玉県小規模企業振興基本条例を

自民党発議で提案・成立しました!

この条例は、小規模企業が地域経済の活性化及び地域住民の生活の向上に果たす役割の重要性に鑑み、小規模企業の振興の基本となる事項を定め、小規模企業の事業の持続的な発展を図ることにより、県経済の活性化及び県民生活の向上に寄与することを目的とするものであります。

本条例案に基づき、県が小規模企業の振興施策を一層積極的に進め、また、地域の多様な主体が適切に支援、協力をしていくことにより、小規模企業の持続的な発展を図ります。これにより、県経済が活性化し、県民生活の向上が図られるものと考えております。

日本が目指す「超スマート社会(Society5.0)」を全国に先駆けて実現(未来都市)

基本計画
 鶴ヶ島ジャンクション周辺地域基本計画
埼玉県

促進区域
 鶴ヶ島ジャンクションを中心とする10km圏域市町13市町
 鶴ヶ島市、坂戸市、日高市、狭山市、入間市、川越市、飯能市、東松山市、毛呂山町、越生町、川島町、吉見町、鳩山町

実現手法
 ・地域未来投資促進法
IoT・人工知能
 ・国家戦略特別区域法
 自動運転ドローン等
 サンドボックス制度

LPWA:IoTを支えるインフラ通信網の先行整備

IoT (Internet of Things)
 ※モノのインターネット
 超スマート社会では、あらゆるモノがコンピュータで接続され、人々の生活利便性が向上します。LPWAはIoTを支える省電力広域通信網ですが、促進区域に先行整備を行います。

鶴ヶ島ジャンクションを中心とした未来産業集積拠点構想のイメージ図

県西部地区に未来産業集積拠点を整備!
自民県議団の提案が加速する!

埼玉県・西部地域は関越道と圏央道が交差する鶴ヶ島ジャンクションがあり、交通の優位性を活かして、日本が目指す「超スマート社会」を全国に先駆けて実現しようとする自民県議団の提案プロジェクトがスタート致しました。

超スマート社会とは、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な制約を乗り越え、生き生きと快適に暮らすことのできる社会です。実現には、IoTや人工知能等の先進的な科学技術を活用します。その為、対象エリアは、IoTを支えるインフラ通信網を先行整備し実証実験を行います。また、国家戦略特別区域法で検討が始まったサンドボックス制度への対応も進めます。

この計画は、国の地域未来投資促進法に基づき「鶴ヶ島ジャンクションを中心とした半径10キロ圏」に位置する十三市町が対象となり、未来産業の集積を目指します。

「超スマート社会」実現へ!

議員政策条例制定へ!
パブリック・コメントを募集します!

条例PTメンバーにて犯罪被害者援助センターを視察

自民県議団では、「埼玉県犯罪被害者等支援条例案」を策定致しました。

この条例は、犯罪被害者等支援に関し、基本理念を定め、並びに県、県民、事業者及び民間支援団体の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等支援に関する施策について、その基本となる事項を定め、総合的かつ計画的に推進するものです。これにより、犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復又は軽減を図り、もって犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができる社会を実現することを目的と致します。

この度、条例制定に向けた条文案を左記ホームページにて公表させて頂き、広く県民のご意見・情報等を募集します。募集期間は、12月25日から1月24日までの予定となります。皆様のご意見・ご協力をお願い申し上げます。

自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net

「政策大綱」を提言・提案!

自民県議団が平成30年度予算編成に関する「政策大綱」「市町村要望」を提出!

奥野副知事に政策大綱を提言する自民県議団役員

埼玉県議会自由民主党議員団では、来年度予算編成に於ける主要な施策を求める「政策大綱」と、県内各市町村より要望を頂いた「市町村要望」を奥野副知事に提出致しました。

これからの社会構造やシステムを創造し迅速に構築していくことが求められていることから、人材育成・新たなインフラ整備・産業構造の転換等、到来する「超スマート社会」へ対応やデジタル脱却を目指すことで、県内の「生産性革命」と「人づくり革命」を断行し、力強い消費を実現すること、経済の好循環の完遂を目指すものであります。政策大綱186項目、市町村要望196項目、議員要望69項目の提言・提案を行いました。

県政のこと、身近なこと等、何でもご相談下さい!

埼玉県議会議員
なかやしき慎一

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所
 住所: 埼玉県鴻巣市東3-11-18-103
 電話: 048-541-8110
 ホームページ: <http://nakayashiki.net/>